

●長崎県立大学 令和4年度第9回教育研究評議会 議事録

日 時	令和4年9月7日（水） 14：40～15：10
場 所	シーボルト校特別会議室
出席者	木村学長、橋本副学長、岩重副学長、大曲副学長、小松副学長、代田経営学部長、綱地域創造学部長、森田国際社会学部長、平岡情報システム学部長、大塚看護栄養学部長、谷澤地域創生専攻長兼地域社会マネジメント専攻長、吉村情報工学専攻長、倉橋人間健康科学専攻長、下野付属図書館長、後藤佐世保校附属図書館長、百岳事務局長、井上シーボルト校事務局長、島本学生支援部長
配付資料	【資料1】教員の公募について 【資料2】教員の長期研修について 【資料3】競争的研究費の直接経費からの研究費以外の業務の代行に係る経費を支出可能とする制度（バイアウト）について 【資料4】令和4年度教員評価結果（令和3年度実績）について
議 事	【協議事項1. 教員の公募について】 資料1に基づき、地域創造学部長より次のような説明があり、了承された。 地域創造学部公共政策学科教員1名の公募について、採用年月日は令和5年4月1日、職位は准教授または講師、専門分野は社会学分野である。 【協議事項2. 教員の長期研修について】 資料2に基づき、地域創造学部長より次のような説明があり、了承された。 地域創造学部公共政策学科から国外長期研修について1名、吉本教授から長期研修の申請があっている。研修期間は令和5年9月から令和6年8月までの1年間で、日本と中国との食料貿易と地域振興の可能性を考察するため、国際貿易を専門とする中国の対外経済貿易大学を研修先とする。 【報告事項1. 競争的研究費の直接経費からの研究費以外の業務の代行に係る経費を支出可能とする制度（バイアウト）について】 資料3に基づき、総務課長より次のように報告された。 研究代表者本人の希望により研究機関と合意をすることで、その者が担っている業務のうち研究以外の業務（講義棟の教育活動等やそれに付随する事務等。）の代行及び補助に係る経費の支出を可能とする制度（バイアウト制度）の導入検討を行う。 制度の導入を検討するにあたって、今後、制度に関する仕組み（業務の範囲や代行できる上限など）の構築、調整を進める。 【報告事項2. 令和4年度教員評価結果（令和3年度実績）について】 資料4に基づき、企画広報課長より次のように報告された。 教育研究評議会での報告の後、HP及びLiveCampusにて公表を行う。 以上